

古郡規雄先生らの論文が日本神経精神薬理学会誌の 『 *NPPR ARTICLE AWARDS 2023* 』を受賞しました！



NPPR Article Awardsは、神経精神薬理学の発展を目的として創設され、主に被引用数やダウンロード数などの指標に基づいて選考されます。

【論文概要】

病院毎の治療抵抗性統合失調症の診断の検討についての退院サマリーへの記載率（治療抵抗性統合失調症診断検討記載率）とクロザピンの処方率とその相関について検討しました。クロザピン処方率と治療抵抗性統合失調症診断検討記載率の両者には強い正の相関が認められ（ $r_s=0.53$ ）、治療抵抗性統合失調症診断検討記載率が100%の病院では0%の病院と比較して、クロザピン処方率が有意に高い結果を得ました。

原文：[DOI:10.1002/npr2.12218](https://doi.org/10.1002/npr2.12218)

本論文については2021年12月にプレスリリースも行いました
([詳細はこちらをクリック](#))

NPPR Article Award 2023

is presented to

Norio Yasui-Furukori

for the paper entitled

“Association between the examination rate of treatment-resistant schizophrenia and the clozapine prescription rate in a nationwide dissemination and implementation study”

published in

Volume 42, Issue 1, Pages 3-9, 2022.

March 4, 2024

Tsuyoshi Miyakawa

Editor in Chief

Neuropsychopharmacology Reports

